

平成28年度事業計画

平成28年度運営方針

平成27年の国内の景気動向は、デフレ脱却と経済再生に向けた大きな前進がみられ、足下では、景気回復が消費や投資の増加に結び付くという経済の「好循環」が着実に回り始めていました。また、昨年末以降の原油価格の下落等により、我が国の交易条件は改善し、実質所得の大幅な増加に寄与しているともいわれました。しかしながら、実感には乏しく、観光業界においても、訪日外国人の大幅な増加や、爆買いなど一昨年に続き好材料は有るもの、国内旅行に目を転じれば、地方創生の交付金によるふるさと旅行券等の事業は好調であったものの、今後の国内誘客にはまだまだ課題が多いと感じる一年でありました。

三重県においては、鈴鹿におけるF1グランプリの復活や遷宮行事の桑名、関の鳥居の建替えなどのイベントがとり行われ、伊勢神宮の参拝者数は838万人と昨年よりも減少しましたが、前回遷宮（平成5年）と同数であり依然多くの参拝者であることに変わりはありません。

平成28年は、三重をPRするビッグチャンスでもある伊勢志摩サミットが賢島で開催されます。また、桑名市に主会場に日本では2回目のジュニアサミットも開催されます。G7各国の中高生が、国際問題について話し合う国際交流事業もあり、国内外に三重が大きく発信される年となります。

三重県観光連盟は、伊勢志摩サミットの開催を千載一遇の機会と認識し、ポストサミット効果を最大限引き出すよう県と一体となり、観光客誘致に取り組みます。また、今まで情報発信、広報宣伝が主体であった連盟事業をより戦略的に誘客マネージメントのできる組織へと変えていく事業を始めます。そしてこれから、ますます増加していく観光客の中心となっていく海外からの旅行客（インバウンド）への対応を支援していくため、県内における受け入れ基盤の整備にも注力していきます。三重県の豊かな観光資源、伝統行事や神宮を中心とした日本古来の文化、これらをいかに効果的に発信し誘客に結びつけ、県内の観光事業を活性化させていくかが、今後の連盟に課せられた使命であると考えております。お越しいただいたお客様が一人でも多く三重県ファン・リピーターになっていただくために、より一層会員及び関係機関との協働・連携を図り、また県内各地域が持つ地域の魅力を的確に掴み、効果的な観光情報発信・誘致宣伝を推進しながら各種事業を展開していきたいと考えております。

三重県観光連盟は今年度におきましても公益法人としてその社会的信用と会員の期待に応えていくために各事業において最善の努力を尽くしていきます。

平成28年度実施事業

めざす姿 三重県観光の総合的な情報受発信機能を担う機関として、観光情報の収集・戦略的な提供、誘客促進を行い、来訪者の増大、県内での周遊性・滞在性の向上を図り、観光消費額の拡大を目指します。これにより、観光事業の健全な発達と振興（観光の産業化）並びに地域の活性化を図ります。

○目標数値（KPI）

三重県観光連盟が実施する事業の平成28年度の目標数値を次のとおりとします。

項目	平成26年度 (実績)	平成27年度 (見込)	平成28年度 (目標)
(1) ホームページアクセス数 「ページビュー数」	1,170万件	1,460万件 (125%)	1,533万件 (105%)
(2) 宿泊予約金額 (宿の予約サイト)	27,286千円	45,000千円 (165%)	54,000千円 (120%)
(3) 広告収入 (ホームページ、季刊紙)	5,481千円 (92%)	5,202千円 (95%)	5,500千円 (106%)

※数値下の（ ）内は、対前年度比

○平成28年度の新たな取組

〈 1. マーケティングの強化 〉

専門業者と連携し、当連盟の強みである公式サイトについてアクセス解析データに基づく課題分析と改善提案を行い、その結果を反映した事業展開を図り、P D C Aサイクルの手法を取り入れて進めていきます。また、新たに設置する事業企画委員会の活動を中心に会員・関係機関の皆様と一層連携を図り、事業を推進していきます。

こうした取り組み等により、目標数値（KPI）の達成を目指します。

具体的には下記の取り組みを通じてマーケティングの強化を進めていきます。

(1) マーケティングに基づく公式サイトの改善

公式サイトにおけるアクセス経由、検索ワード、人気ページ、滞在時間等のデータを分析し、この結果から課題を抽出し、これを解決する方策を策定します。策定した戦略に基づきタイムリーにホームページ（S N S含む）をブラッシュアップします。

これを毎月実施することによりP D C Aサイクルを回し事業を推進していきます。

(2) マーケティングデータの効果的な活用

アクセス解析から得られるマーケティングデータを季刊紙の企画・改善に活用するとともに他の広告宣伝事業を検討する際にも活かし、効果的な事業を推進していきます。

(3) 会員へのマーケティングデータの提供（年4回予定）

分析データから抽出したマーケットのトレンドを会員の皆様へ提供します。

(4) 事業企画委員会の設置

マーケティングデータに基づき効果的な事業を企画し、会員の皆様とともに具体的な事業を実施していくために宣伝委員会をリニューアルし、事業企画委員会を設置し

ます。

〈 2. インバウンド取組の強化 〉

県内での外国人延べ宿泊数は平成26年の約18万人から平成27年には約38万人と2倍以上に増加しており、伊勢志摩サミット開催の好機を活かし、さらに伸ばしていくために、アジア市場に加え欧米市場等もターゲットに、比率の高まっている個人の外国人旅行者（F I T）の取り込みも図る必要があります。そのため、外国人個人旅行者（F I T）の情報収集源としての割合が高まっているS N Sを活用した情報発信を行い誘客促進を図るとともに、着地型・体験型観光への通訳派遣や観光事業者の施設表記の多言語化を中心に支援することにより、受入環境の充実に努めます。

○平成28年度実施事業

1. 観光情報の収集発信

（1）観光情報提供事業（16,449千円）

マーケティングデータに基づいたホームページによる戦略的な観光情報提供を行うとともに、電話等による問い合わせに対しニーズに応じた案内を行います。

① ホームページ作成管理

ホームページ「観光三重」については、桜情報などの季節の特集や絶景写真撮影スポットなどのテーマ別特集を充実させるとともに具体的な旅を訴求するモデルコースの増設を行います。ページビューの多い特設ページには、伊賀名張地区のページを新規作成します（伊勢志摩・東紀州地区既掲載）。また、「食」をテーマとする県事業関係サイトも併設する予定です。

なお、現在のバナー広告に加え、新たにタイアップ広告やグーグルアドセンスなどの展開により広告収入の増加を図り、財源の確保に努めます。

〔※グーグルアドセンスとは、グーグルがサイトの内容を読み取り、そのサイトに最もマッチした広告を自動判別して表示し、サイト訪問者が広告をクリックする毎にサイト管理者に報酬が支払われるクリック報酬型アフィリエイト広告です。〕

・ホームページを中心とした情報提供

トップ画像やイチオシによる旬の情報の効果的な提供、イベント・スポット・モデルコース情報の充実、メールマガジンによる情報発信を行います。

閲覧数が大幅に増加しているスマートフォンについて重点的にコンテンツ作成を実施します（短時間周遊コースの掲載等）。

・S N S（ソーシャル・ネットワーク・サービス）による情報提供

フェイスブック、ツイッター、LINEにオフィシャルページを設けて観光情報を発信します。

目標（参考）

項目	平成26年度 (実績)	平成27年度 (見込)	平成28年度 (目標)
フェイスブック「いいね」数	7,365	8,400	9,240
ツイッターフォロワー数	1,876	2,300	2,800
LINE有効友だち数	3,200	3,450	4,000

② 観光案内

電話、インターネット、窓口等での観光案内や観光資料等の提供を行います。

- ・フリーダイヤル等による情報提供

(2) 観光情報提供強化事業（22,828千円）

季節ごとの県内の観光情報を提供する季刊紙「観光三重」、会員を中心に県内の主な観光施設等を紹介した「三重の観光ガイド」の発行を通じ、観光地情報、イベント情報等のきめ細かい情報発信を行います。

① 季刊紙「観光三重」の発行（年4回、各23万部予定）

風物詩や最新のトピックス等の観光情報を紹介します。また、新たにデジタルブックを作成し、ホームページ上の閲覧を可能にすることにより読者層の拡大を図ります。なお、読者アンケートを強化し、その結果やホームページの分析データをもとにより顧客ニーズにマッチした企画を開発します。

② 「三重の観光ガイドブック」の増刷（6万部予定）

県内の主な観光施設、宿泊施設、グルメ、お土産等を紹介したガイドブックの増刷を行います。

(3) 広域観光事業（696千円）

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、三重県観光のPR・観光客誘致を推進します。

・観光展等の開催

日本観光振興協会（関西支部）・関西6府県と連携し、岡山・横浜での観光展等においてPR活動を行います。

2. 誘致拡大のための広報宣伝

(1) 観光宣伝事業（4,086千円）

旅行エージェント等へのセールス活動や県内外で開催されるイベントにおいて観光PRを行い、誘客促進を図ります。

また、県内各地のフィルムコミッショナの支援等にも取り組みます。

① 大都市圏会員活動支援事業

三重県観光誘致推進協議会（三重美し会）や三重県観光関西協議会（三重路会）の会員による旅行エージェント等へのキャラバンセールスに参加し、団体客やMICE等の誘致促進を図ります。

② ラジオ番組とタイアップした観光PR

ラジオ番組と連携した観光PRを岐阜・神戸等において実施します。

③ F1日本GP地域活性化協議会への参画

F1日本グランプリ等において観光PRを実施します。

④ フィルムコミッショナ事業（県受託事業予定）

メディア等を活用した県内ロケ地などの情報発信や県内各地のフィルムコミッショナの連携支援・研修等を行います。

(2) 協働宣伝事業（6,701千円）

観光連盟会員の強みを生かしながらメディアを活用した情報発信を行うとともに、プレス関係者等を対象により効果的でタイムリーな情報提供実施します。

① ラジオ番組等でのPR（会員出演による情報発信等）

岐阜放送、FM鈴鹿等のラジオ等を使った定期的な観光情報の発信を行います。

② インターネット等を活用した情報発信

有力サイトにおける記事広告等を使った観光情報の発信を行います。

③ メディアに対する恒常的な情報提供

メディアに対し、専用ホームページ・メールマガジンを通じた継続的な情報発信を行います。

3. 観光産業及び観光文化の振興

観光物産連携事業（603千円）

三重県物産振興会と連携し、県外中心に開催される物産展において観光物産のPRを展開し、三重県への来訪促進を図ります。なお、県が「食」をテーマに新たなパスポート事業等の展開を図ることから、相乗効果が上がるよう連携を強化し、取り組んでいきます。

・物産観光展への出展（三越日本橋店（東京都）、山形屋（鹿児島県）等の百貨店での開催を予定）

4. 観光基盤整備

観光基盤整備事業（2,000千円）

地域懇談会や研修会の実施等により会員とのネットワーク強化や各地域のおもてなし力向上等につなげ、観光基盤の強化を図ります。

① 地域懇談会の開催

観光連盟の事業運営についての会員からの意見や会員相互の情報交換・意見交換の場を設定し、ネットワーク強化のため地域懇談会を実施します。

② 研修会の実施

WEB等での情報発信力を高める情報発信研修会や来訪者の多様なニーズに応え、満足度向上を図るためのおもてなし力向上につながるスキルアップ研修を実施します。

③ 会員向け情報の提供（メール通信）

電子メールによるメールマガジン形式で行政情報、組織内情報、市場動向情報等を会員向けに配信します。

④ 観光事業振興功労表彰

観光事業の発展、観光サービスの質的向上に資することを目的に、三重県の観光事業振興等の分野において貢献し、観光客の誘致等に寄与した方を表彰します。

5. 外客誘致促進事業

国際観光事業（4,964千円）

本県内の観光事業者に対しての助言等や通訳派遣事業により受入環境を整備するとともに、SNSを用いて海外に向けて情報発信を行います。

① 外客受入支援（県受託事業予定）

県内の観光事業者に対して施設訪問を行い、助言や情報提供などを通じて多言語化やWi-Fiなどの受入環境整備を促進します。なお、ホームページ、パンフレット、館内表示、メニュー等の多言語化に際しては、事業者のニーズに応じ外国語への翻訳サービスを提供します。

② 着地型・体験型プログラム通訳派遣事業

着地型・体験型プログラム主催者等からの要請に応じて（公財）三重県国際交流財団の通訳パートナーのボランティア通訳を派遣し、外国人個人旅行者（FIT）が安心安全にプログラムを体験できるよう受入環境の向上を図ります。

③ SNSによる情報発信（県受託事業予定）

フェイスブック等のSNS機能を利用し、個人の外国人旅行者（FIT）をターゲットに旅行者が求める魅力的なタイムリー性のある情報の発信を行います（8か国語を予定）。